

明ができるよう心掛けて発信しています。



鹿口 柚乃さん

質問 夜遅く家に帰る時、暗く怖いところがあります。街の暗いところにもっと街路灯をつけたら良いと思いますが、現地調査や、地域住民への聞き取りなどは行っているのでしょうか。

答弁 住民からの要望、周辺の状況、街並みの移り変わりに合わせ設置場所を決めるほか、通学路安全推進会議で、年2回通学路の点検を行い、街路灯の設置状況や夜間に目で見えるさを確認して整備しています。



質問 観光客が多いところでは街並みをよくするために住民も参加できるように取り組みをしています。幌延町でもクリーン作戦などをしていますが、もっと町民が積極的に参加できるような活動を月に1度ほどやってはどうでしょうか。



谷口 義騎 君

答弁 春と秋のクリーン作戦や、道道稚内幌延線沿いの花壇の整備、山村広場の花壇整備、町道沿いの草刈りや落ち葉の収集、樹木の枝払いを実施しています。町内会によっては、月1回、歩道等の清掃の日を設けているところもあります。町としては月に1度、街並みを良くする事業を実施するような考えはありませんが、広報誌などを活用し、町民皆さんのさらなる環境



クリーン作戦のようす

意識向上の啓発に努め、私自身も良好な街並みとなるよう行動していきます。



野村 未憂さん

質問 幌延町には、私たち学生や若い年代に嬉しい施設がありません。若者の定住を考えるため、カフェなどを作れば、働く場所もできるし、学生も喜んで行くと思います。

答弁 住み慣れた幌延町で暮らし続けられるまちづくりを進め、人口減少を緩やかにするために、若い世代に配慮したまちづくりを進めるべきだと考えます。例えば、学生が地域の人たちといっしょにレストランやカフェを定期的に関わるイベントがあれば賑わいにつながるのではないのでしょうか。



橋本 陽斗 君

質問 人口が増える要因は、住みやすい環境や色々な場所へのアクセスのしやすさ等だと思います。

自然を活かすのはいいことだとは思いますが、自然のための地域活動などを増やしたり、自分は自然を維持するために役に立っているという感情を芽生えさ

せる活動をする、周りの人々の注目は集まり、人が来やすくなるのでないでしょうか。

答弁 町の自然を保護し維持するためには、まず、本町の自然に慣れ親しみ、歴史を学ぶ必要があると思います。

その取り組みとして、認定こども園では日常的にふるさとの森を散策し、教育委員会では本町に生息する動物の実態を学ぶナイトハイクや渡り鳥の観察会等を行っており、それらの活動を通じて本町の自然に慣れ親しみ、歴史を学んだその先に保護や保全に対する意識や取り組みの必要性が高まるものと考えています。

本町の自然に慣れ親しんだ皆さんが中心となり、自然環境保護等に対する取り組みを進めたいとのことであれば、町は喜んで応援したいと思えます。